

# 建設情報 *Iwate*

## 20日付で建築主体を公告へ 盛岡市 都南東部体育館の建設工事

盛岡市は、(仮称) 都南東部体育館について、20日付で建築主体工事を一般競争入札で公告する予定だ。入札は2025年1月23日が予定されている。

同体育館は、盛岡市・都南村合併建設計画書に基づき整備されるもの。建設場所は、同市乙部4地割30番地1ほか地内で、乙部出張所・乙部地区公民館や現乙部体育館がある一帯と道路を挟んだ隣接地となる。敷地面積は約3368.86平方メートルとなっている。

特徴としては、▽地域スポーツ活動拠点▽地域健康づくり拠点▽地域コミュニティ支援▽利用者に優しい施設として整備。十分なアリーナ面積を確保するほか、軽

運動が可能な多目的室の設置、身体への負担を軽減できる弾性シート材の採用、ボルダリング壁の設置、玄関からアリーナまでの無段差化、ステージの低床化などを計画している。

施設規模は鉄骨造平屋建て（陸屋根）1287.43平方メートルを想定。床面積は、現在の乙部体育館の約1.9倍となる。

新体育館のアリーナは約930平方メートルで、バスケット1面（ミニバス2面）、バレー2面、バドミントン6面を確保できる広さとする。ステージは63平方メートル。そのほか多目的室などを設ける。設備類については、LED照明を設置するほか、多目的トイレや遠赤外線照射

**ニュースのお知らせ**  
〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33  
**本社編集部へ**  
TEL (019) 623-8201  
FAX (019) 623-8204

暖房を設ける。

駐車場については、新体育館の敷地内に32台（うち車いす用駐車場1台）を確保。乙部地区公民館の駐車場を含めると74台分のスペースを確保できるとしている。実施設計は、佐々木章設計事務所が担当した。

建築主体工事の入札参加資格は、建築一式工事甲A2者によるJVとなる予定。工期は466日間。機械設備、電気設備も一般競争で公告する予定となっている。

## 長根地区の護岸修繕 測量設計は土木技研

＝県奥州審査指導監＝

県南広域振興局奥州審査指導監は、「一級河川広瀬川筋長根地区護岸修繕測量設計業務委託」を入札した結果、土木技研が340万円で落札した。履行期限は84日間となっている。（関連7面）

同業務は、奥州市江刺長根地区の一級河川広瀬川で、損傷した河川施設の復旧を進めるため実施するもの。広瀬川筋長根地区では、23年度に河川施設が損傷。今回、復旧に向けて測量や設計を実施する。

業務内容は、現地測量0.006平方メートル、路線測量一式、河川護岸復旧詳細設計80万円。うち測量は、①現地測量（作業計画）1業務②現地測量（作業計画0.006平方メートル、数値編集0.006平方メートル、細部測量0.006平方メートル、数値地形図データファイルの作成0.006平方メートル）③作業計画（路線測量、現地踏査0.13平方メートル）④中心線測量（路線測量、中心点座標計算0.13平方メートル、線形地形図の作成0.13平方メートル、測定設置0.13平方メートル、点検整理0.13平方メートル）⑤縦断測量（路線測量、観測0.13平方メートル、点検整理0.13平方メートル）⑥横断測量（路線測量、観測0.08平方メートル、点検整理0.08平方メートル、横断面図作成0.08平方メートル）

設計では、河川護岸復旧詳細設計として、設計計画80万円や現地踏査80万円、基本事項の決定（護岸の配置計画）80万円、施工計画80万円、仮設計画80万円、図面作成80万円、数量計算80万円、照査80万円、報告書作成80万円を行う。

## 藤原上町の樋門設計 は基礎地盤コンサル

＝県宮古審査指導監＝

県沿岸広域振興局宮古審査指導監は、簡易総合評価落札方式の「二級河川閉伊川筋藤原上町地区樋門設計業務委託」を入札した結果、基礎地盤コンサルタンツが1077万8000円で落札した。委託予定期間は2025年3月21日まで。

同業務では、閉伊川藤原上町地区における無堤防区間の樋門予備設計をまとめる。

業務対象地域は、宮古市藤原上町地内。樋門予備設計の内容は、設計計画や現地踏査をはじめ、基本事項の検討、設計図の作成、施工計画の検討、概算工事費の算出、報告書の作成一などとなっている。

## 建築申請

▽建築主、住所、建築場所、用途、構造・階数（W＝木造 S＝鉄骨造 RC＝鉄筋コンクリート造）、面積、設計、施工  
**県南広域振興局工務部**  
▽7月9日  
▽機オフィス岩手住宅 盛岡市大館町16-10 金ケ崎町三ヶ尻荒巻横道上14-1の一部 長屋（(仮称) 金ケ崎町三ヶ尻荒巻横道上賃貸A棟）新 W2（枠組壁工法）306.15㎡ コンシエールジュアP 同  
▽機オフィス岩手住宅 盛岡市大館町16-10 金ケ崎町三ヶ尻荒巻横道上14-1の一部 長屋（(仮称) 金ケ崎町三ヶ尻荒巻横道上賃貸B棟）新 W2（枠組壁工法）363.06㎡ コンシエールジュアP 同  
▽7月10日  
▽マルキ産業㈱代表取締役井田雄公 大阪府大阪市自然田1413 奥州市江刺岩谷堂字松長根68番1工場（倉庫棟）増 S1 1414.82㎡ 千葉建設建築設計事務所 千葉建設  
▽7月16日  
▽機プロワーカー代表取締役佐藤善幸 奥州市江刺八日町1丁目9-37 同市水沢佐倉河字沖ノ目58-3、58-4の各一部 一戸建ての住宅（奥州S Y8510064）新 S2 160.80㎡ 大和ハウス工業北東北支店住宅一級建築士事務所 大和ハウス工業北日本支社

# いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える

**防災インフラ設備を活用したインフラツーリズム**

岩手大学理工学部システム創成工学科准教授 **鴨志田 直人**

11月16日に「地域を支える『まちづくりリーダー』育成プログラム」のリーダー認定者による活動報告会が開催された。このプログラムは、環境問題や地域防災の重要性を地域、学校、職場などへ伝え、そこでの活動を牽引するリーダーを育成することを目的に、岩手大学が主催する社会人学び直しプログラムである。この報告会の中で、土砂災害から市民の生命と財産を守るための防災施設を活用したインフラツーリズムの報告があったので紹介したい。

インフラツーリズムとは、ダム、橋、港などの公共土木施設そのものを地域固有の観光資源として位置づけ、地域振興に役立てる取り組みである。ツアーの参加者は、巨大な構造物のダイナミックな景観を楽しんだり、普段は入れないインフラの内部や今

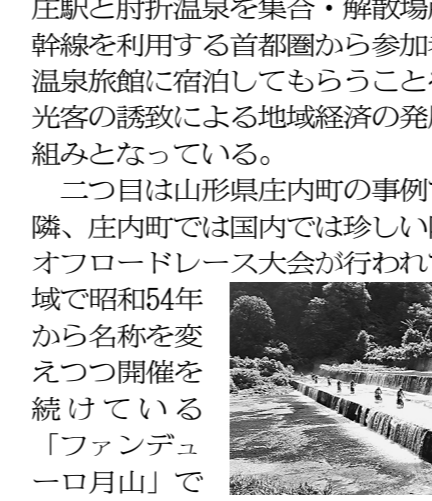
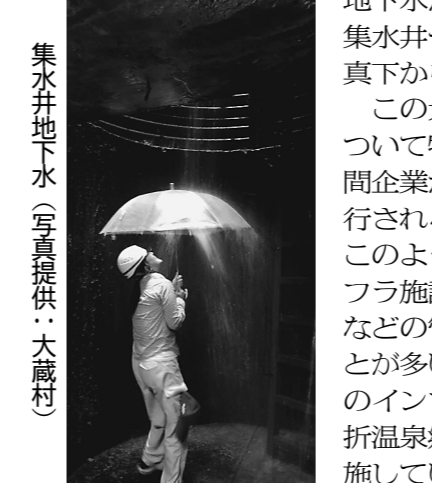
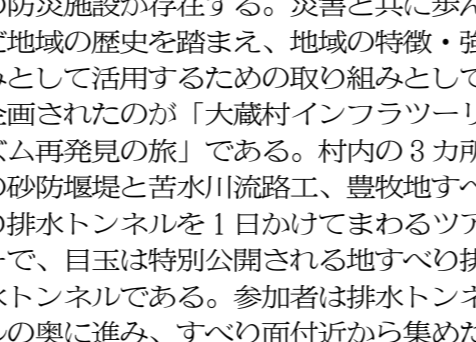
しか見られない工事風景など非日常の体験を味わったりすることができる。一方で、インフラ施設の管理者は、インフラ施設の役割や造られた背景を市民に知ってもらえることができる。

一つ目は山形県大蔵村の事例である。南西に出羽三山の主峰月山を仰ぐ大蔵村は、山間部のほとんどが地すべり防止区域に、村を縦断する銅山川などの中小河川が砂防河川に指定されており、村内には数多くの防災施設が存在する。災害と共に歩んだ地域の歴史を踏まえ、地域の特徴・強みとして活用するための取り組みとして企画されたのが「大蔵村インフラツーリズム再発見の旅」である。村内の3カ所の砂防堰堤と苦水川流路工、豊牧地すべり排水トンネルを1日かけてまわるツアーで、目玉は特別公開される地すべり排水トンネルである。参加者は排水トンネルの奥に進み、すべり面付近から集めた

地下水が排水される様子を集水井や排水ボーリングの真下から見学できる。

この大蔵村の取り組みについて特筆すべき点は、民間企業が企画立案し有料で行われる点である。一般に、このような工事現場・インフラ施設の見学会は国や県などの管理者が主催することが多い。しかし、大蔵村のインフラツーリズムは肘折温泉郷振興(株)が企画・実施している。本ツアーは新庄駅と肘折温泉を集合・解散場所とすることで、新幹線を利用する首都圏から参加者を呼び込むこと、温泉旅館に宿泊してもらうことを想定しており、観光客の誘致による地域経済の発展が期待される取り組みとなっている。

二つ目は山形県庄内町の事例である。大蔵村のお隣、庄内町では国内では珍しい防災施設を活用したオフロードレース大会が行われている。立谷沢川流域で昭和54年から名称を変えつつ開催を続けている「ファンデュロ月山」である。このレースの特徴は、コースに瀨場砂防堰堤（登録有形文化財）や立谷沢川流路工が含まれていること。河川内にある巨大コンクリート構造物の上を、水飛沫をあげながら疾走することから、全国各地からライダーが集まる人気のコースとなっている。こちらも、防災インフラ設備が地域振興に寄与する取り組みであり、地



元バイク愛好家が主催する新しいインフラツーリズムの一つと考えることができる。

岩手県内にも、我々が気づいていない魅力ある防災インフラ設備が多数眠っていると思われる。これらを発掘し付加価値を付けて収益化する、言い換えると、限られた客層にしか刺さらないが「高単価で売れる商品」を開発するためには、実際にインフラの設計・施工に関わった地元建設業者の「専門的な知識」や「施工当時の情報」が欠かせない。建設業者がインフラツーリズムに関わることは、新たな地域貢献の形ではなからうか。

参考  
地域を支える『まちづくりリーダー』育成プログラム：<https://rcrdm.iwate-u.ac.jp/selsec/>  
豊牧地すべり排水トンネル：[https://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/04\\_gakushu/pamphlet/pdf/06-haisui.pdf](https://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/04_gakushu/pamphlet/pdf/06-haisui.pdf)  
第2回「大蔵村インフラツーリズム再発見の旅」ツアー参加者募集！：<https://www.vill.ohkura.yamagata.jp/soshikikarasagasu/sangyoshinkoka/gyomuannai/3/2067.html>  
さきちゃんだより：[https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/J76201/05\\_jimusho/kouhoushi/04\\_tachiya/pdf/105.pdf](https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/J76201/05_jimusho/kouhoushi/04_tachiya/pdf/105.pdf)

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

# 2024年版 岩手建設年鑑

好評発売中!!

23・24年度 格付を搭載  
(検索可能なCD-ROM付)

定価 **22,000円** (税込)

一冊にすべて入っています

業者名簿編    コンサルタント編  
団体名簿編    資料編

CD-ROM  
検索(地域別・業種別・格付別)  
主な業界団体構成員が検索できます  
二次加工(プリントアウト)できます

お申し込みは (株)日刊岩手建設工業新聞社  
☎(019)623-8201  
[www.nikkaniwate.co.jp](http://www.nikkaniwate.co.jp)から

一般建築・鉄骨・橋梁塗装

一般社団法人日本塗装工業会会員  
岩手県塗装工業組合会員

株式会社 **富士塗装**

盛岡市みたち4丁目33-15 TEL (019)641-4431(代)  
FAX (019)641-4476

解体工事から  
一般・産業廃棄物処理まで  
お気軽にお問い合わせ下さい

奥州エコリサイクルセンター TEL・FAX:0197-32-2111 [岩手県奥州市江刺 田原字横懸248-9]

特定建設業 **EC南部コーポレーション(株)**

本社/〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字慶徳71  
TEL0197-22-2255・FAX0197-24-2555  
<http://www.ecnanbu.jp> E-mail info@ecnanbu.jp

受入品目  
●がれき(アスファルト、コンクリートから)  
●木くず(解体木材、伐採材、剪定材)  
●廃プラスチック類  
●廃石膏ボード  
●その他(ガラス陶磁器屑、金属屑、繊維屑、紙屑)